

校長室通信 4/30 9号

4月30日(水)に避難訓練を実施しました。
今回は、給食室火災発生という設定でした。避難終了後に、校長から次のような話をしました。

『今日は教頭先生の放送「避難開始」から、全員が避難するまで、4分27秒でした。火災が原因で命を落とす人のほとんどが煙に巻かれての一酸化炭素中毒(息ができなくなる)ために命を落とすそうです。煙の速さは、縦に1秒間で約5m進むといわれています。私は足が速いから大丈夫という人もいるかもしれませんがね。しかし、小榊小の1階から3階まで5秒かからないのです。校長先生はいつも言っています。「みんなが」です。1年生も先生方もみんなが安全に避難できなければなりません。「お・は・し・も」の「おさない」「や・は・し・ら・ない」は、ほとんどの人が守れていました。褒めておきます。ただ、「しゃべらない」はどうだったでしょうか。時間がかかったのは、おしゃべりをする人が多かったからかも知れませんね。にやけている人もいました。一人でもルールが守れないとみんなが迷惑をします。「命は、一つ」です。テストや試合のように、やり直しや次はありません。命に関わることだと思って次は絶対に守ってください。「今回皆さんは、自分の教室からみんなを整列して避難してきました。しかし、実際は皆さんがどこにいるときに地震や火災が発生するかわかりません。運動場にいるときに地震が来ることもあれば、トイレにいるときに火災に見舞われる可能性もあるでしょう。自分の命は自分で守る。このことを「自助」といいます。自助ができなければ、周りの友達と協力して助け合うことはできません。力を合わせて協力することを「共助」といいます。この、「自助」と「共助」ができる小榊小のみんなにないましょう。』

